

地域循環共生社会づくりモデル事業 ～雑がみさまを探せ！～



公益財団法人古紙再生促進センター

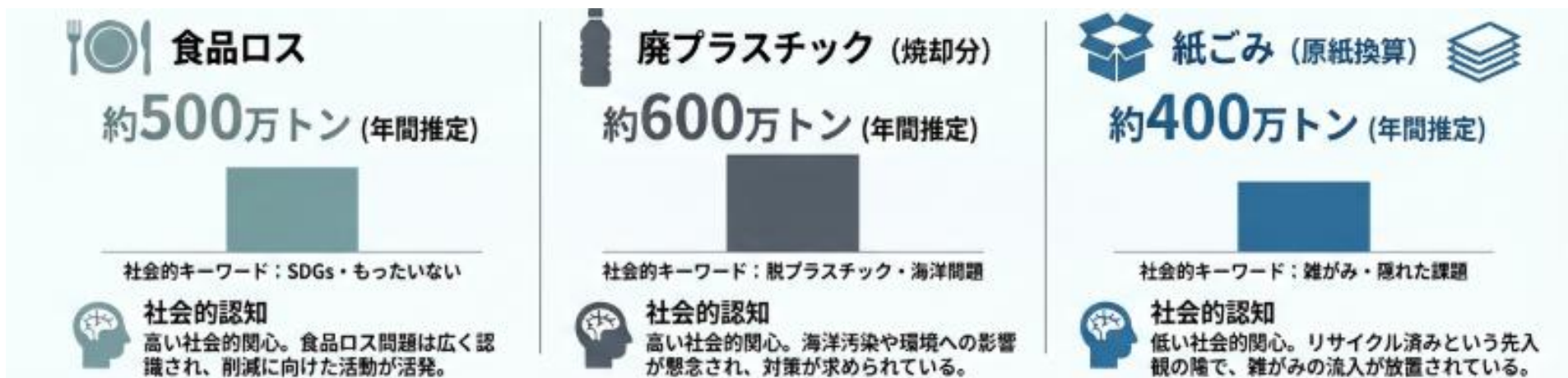
はじめに

当センターでは、**地域循環共生社会づくりモデル**の構築を目指し、雑がみの掘り起こしによる可燃ごみの削減をはじめとした資源循環の促進に取り組んでいます。特に、身近にある「雑がみ」に着目し、市民の行動変容を後押しする啓発の展開を進めております。

自治体の皆様におかれては、これまでも紙ごみの削減やリサイクルの推進に向けて、分別の徹底や啓発活動など多様な取り組みを積み重ねてこられたことと認識しており、そのご尽力に敬意を表します。

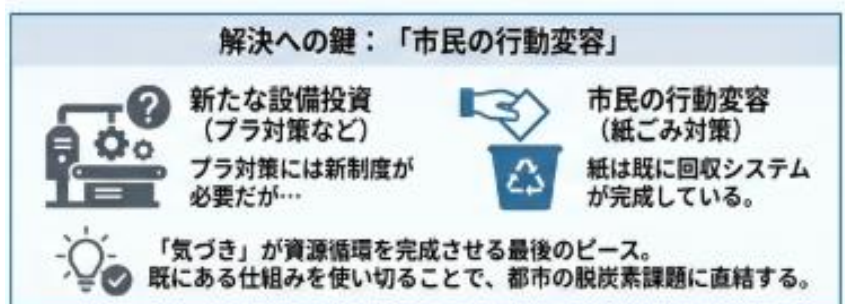
「雑がみさまを探せ！」は、そうした各自治体の施策を補完するものとして、地域の特性や課題に応じて柔軟にご活用いただけるものです。啓発活動の一助として、市民や関係主体のさらなる参画を促し、資源循環の取組が一層広がるようお手伝いできればと考えております。

仮説・要検証（あくまで一定前提の概算・試算）



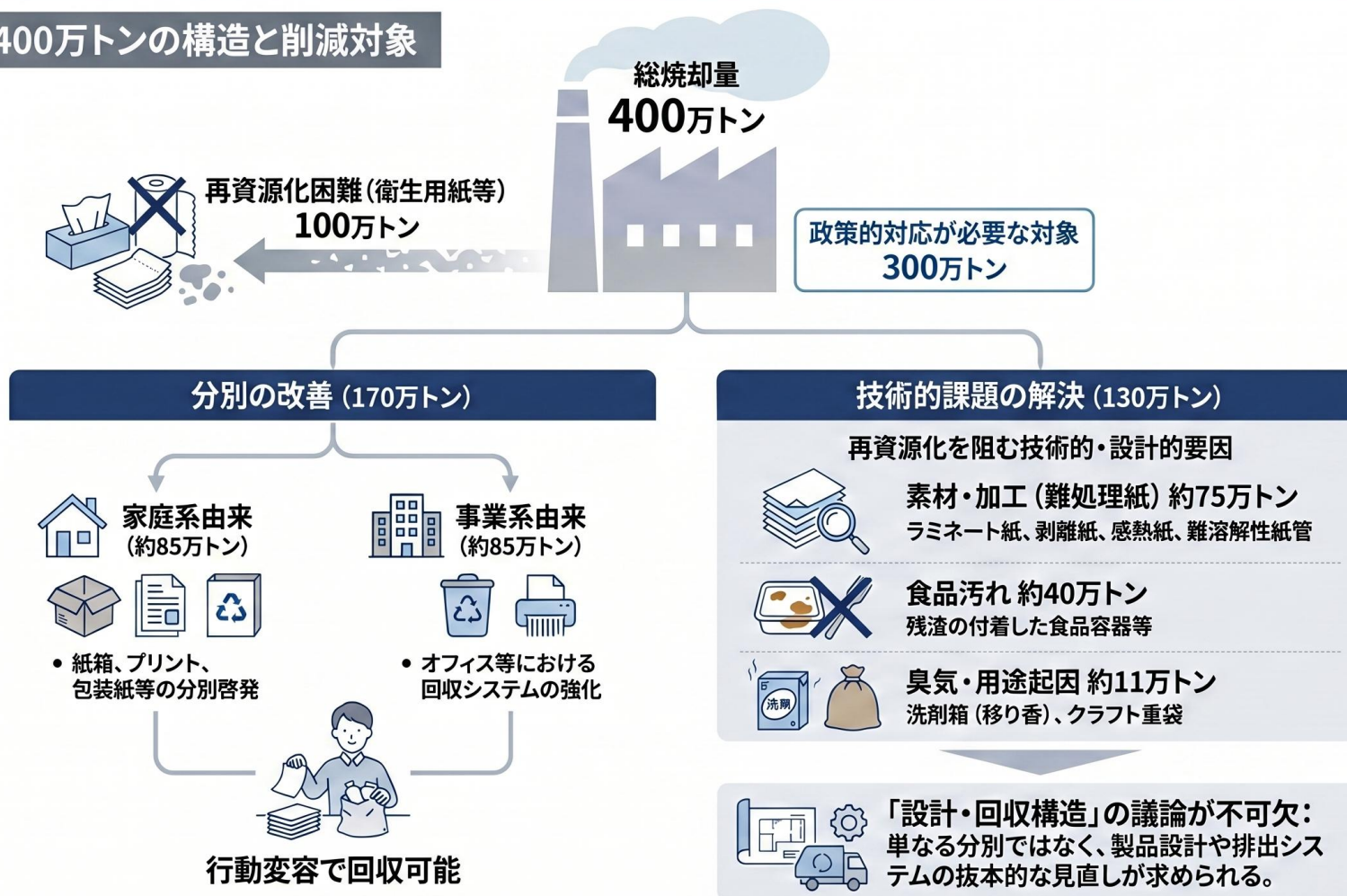
「紙は、リサイクルの優等生」ゆえの盲点

高い回収率という成功イメージが定着。可燃ごみに混入している紙資源（雑がみ）の存在が、一般からは見えにくくなっている？

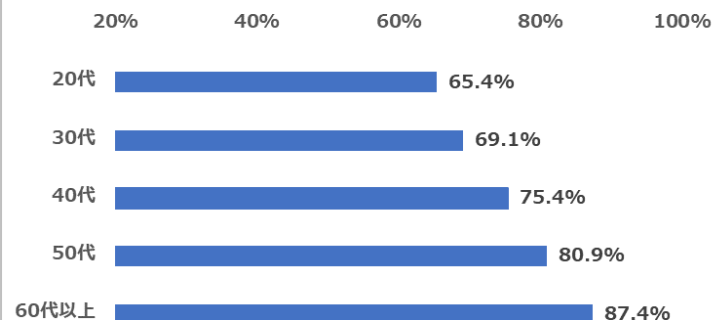


仮説・要検証（あくまで一定前提の概算・試算）

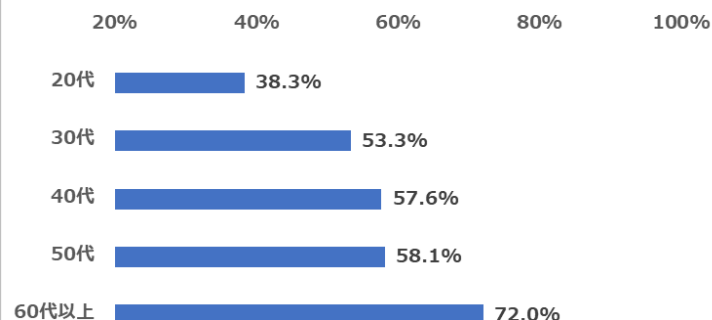
焼却古紙400万トンの構造と削減対象



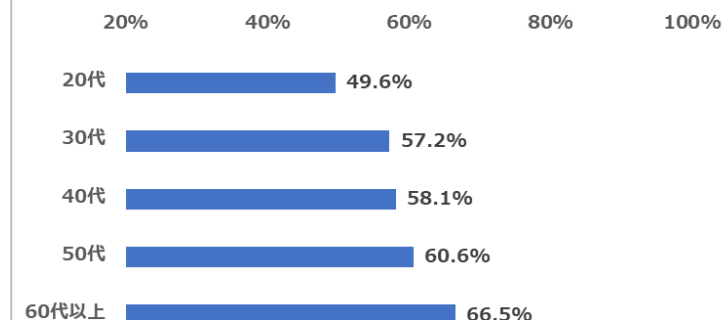
古紙を分別している



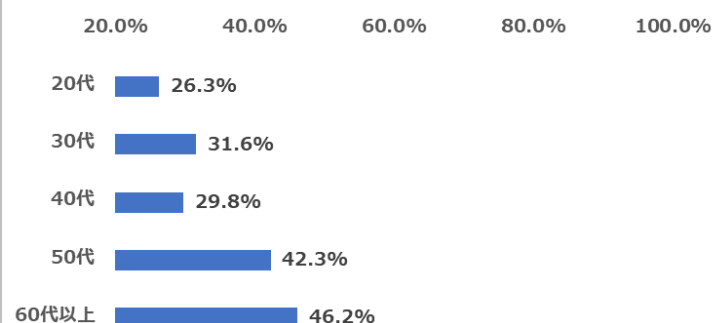
「禁忌品」を知っている



「雑がみ」を知っている



分別の目的を知っている



割合	理由
40.4	分別や排出のための作業が面倒である
28.6	雑がみが何なのか知らない
17.2	自治体の資源回収や地域の集団資源回収などの回収対象になっていない
17.0	回収回数が可燃ごみに比べて少ない（置いておく場所がない、早く処分したい）
12.4	資源として出す方法がわからない（収集日や排出場所、まとめ方など）
11.6	回収日まで雑がみを入れておく（ためておく）紙袋等がないため
10.2	個人情報に記載されている
10.2	紙のリサイクルには関心がない
6.0	排出場所に持っていくのが大変である
2.4	その他

古紙再生促進センター実施
消費者アンケートより

課題の現状：知識はあるが行動に結びつかない背景

「分かっているけど行動しない」心理的・社会的障壁



従来型啓発（正しい知識の伝達）の限界



一方向的なルール徹底だけでは、
多様な価値観を持つ市民の行動
定着には至らない。



市民が分別に踏み出せない主な心理的要因の整理

心理的要因	具体的な内容
心理的負担	分別方法への不安や、作業そのものの面倒さ
低い自己効力感	少量のリサイクルでは社会的な意味を感じにくい
社会的ジレンマ	他者が実施していないという認識による動機低下

自発的な参加を促す「循環参加モデル」への転換



「気づき・試し・参加する」入口の設計

完整な分別よりも、ゲーム性やイベントを通じて楽しみながら関わり始める空気づくりを重視する



行政



市民



事業者

多様な主体による地域共創の重要性

行政、市民、事業者がそれぞれの立場で関わる意味を感じられる、納得感のある仕組みを構築する



行動変容プロセスの可視化と検証

回収量だけでなく、何がきっかけで行動が始まり継続するのかという心理のプロセスを分析する

市民の分別意識の根底には、「面倒」「分かりにくい」といった日常感覚が存在する。
一方で、意味や効果が伝わり、簡単で身近な行動として認識されれば、行動変容につながる可能性もある。
形式や制度論だけではなく、“**自分ごと化**”を促す啓発が重要となる。

雑がみさまを探せ！概要



公益財団法人
古紙再生促進センター

01

配付

啓発チラシ・啓発袋を配布

02

実践

啓発資材を活用し、雑がみ回収を実施
家族と一緒に分別を行い、雑がみの認知と分別習慣形成を図る

03

救出

雑がみを可燃ごみとしてではなく、資源として排出
(排出方法については自治体のルールに準ずる)

身の回りの「雑がみ」にも神様が宿っており、可燃ごみとして捨てられている「雑がみさま」を皆で探し出して、救出しようというというストーリー

大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授（仕掛学）と連携した施策



啓発チラシ



啓発袋

東洋経済新報社
125th
創業125周年
東洋経済

「ついしたくなる」 には、**シカケ**がある。

仕掛学の使用例

Q. 【問題】
みんなが楽しみながら、
ゴミを捨てられる
ようになる方法とは？

A. バスケットゴールを
設置することで、
ゴミを捨てたくなる！

「仕掛け」は行動の選択肢を増やすもの

いつもの行動

もうひとつの行動

スタンフォード大学の
講義でも
用いられている
日本発のフレームワーク。

仕掛学

松村 真宏 著 / 本体1,500円

実施事例



公益財団法人
古紙再生促進センター

令和7年度実績 全国50か所・2万人以上に啓発を実施

環境フェア・イベント



実施事例



公益財団法人
古紙再生促進センター

学校



荒川区での事例報道
(TCN・東京ケーブルネットワーク)
8分16秒から

実施事例



公益財団法人
古紙再生促進センター

自治体



名古屋市との協定締結



札幌市との覚書締結

大学



跡見学園女子大学との連携



佐賀大学との連携

啓発資材



公益財団法人
古紙再生促進センター

当センターでは、啓発資材の提供・貸出を実施しております。

提供



啓発チラシ



啓発袋

貸出



のぼり旗



ロールアップバナー



パネル(A1・A2)



テーブルクロス



ビブス



バルーンPOP

※数量に限りがあるため、調整させていただきます。

※送料は無料です。

資材の提供・貸出を希望の方は下記QRコードから申し込みをお願い致します。

QRコード



※必要な資材並びに数量の入力をお願いします

※ご不明な点等ございましたらセンターまでご連絡ください

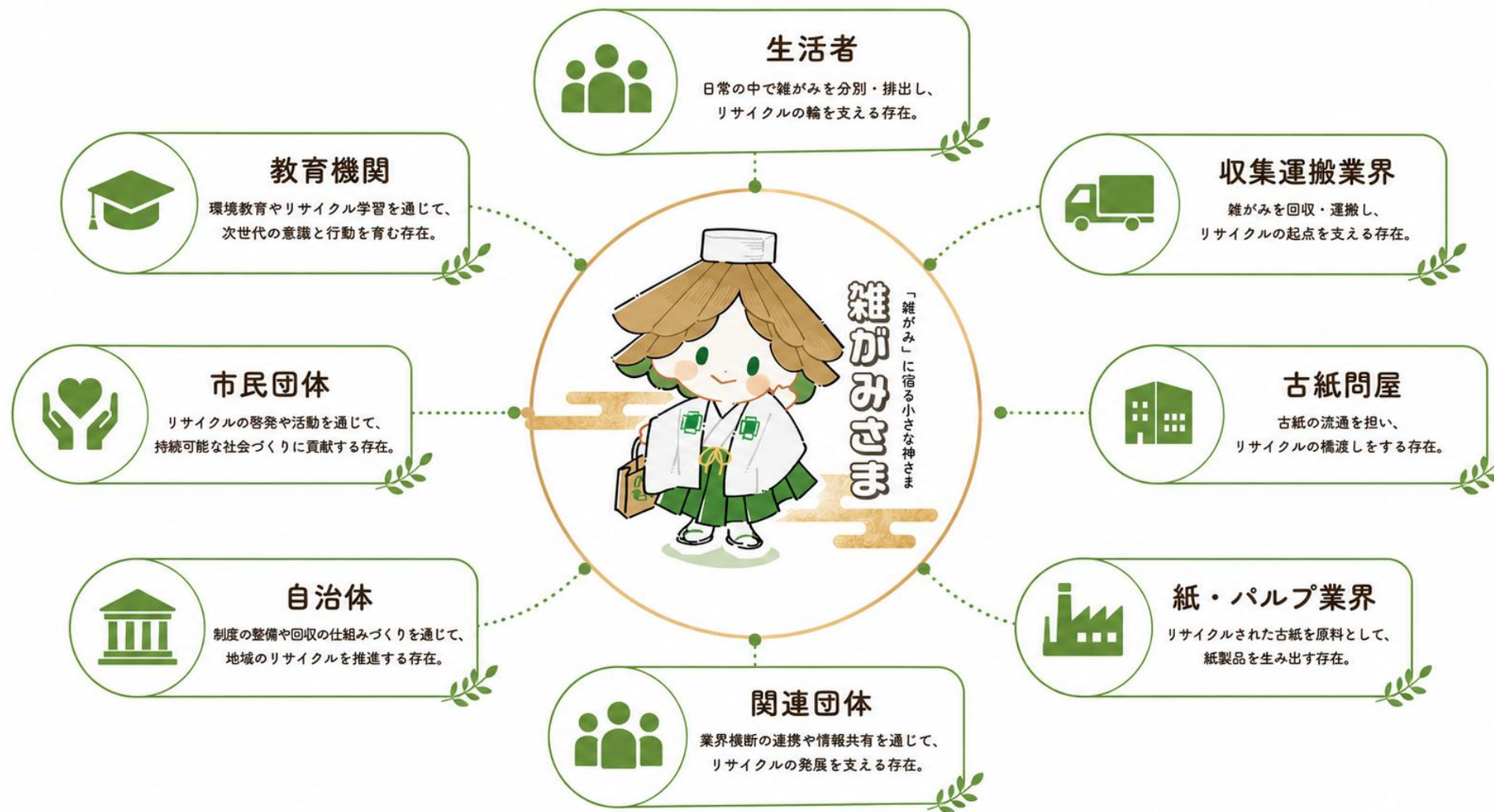
また、当センターでは各地での啓発の様子を記録しております。

啓発の様子を撮影いただき、写真を共有いただけますと幸いです。

共創のイメージ



公益財団法人
古紙再生促進センター



雑がみを起点に、資源循環の取り組みを地域全体へ
本取り組みが自治体の皆様の一助となれば幸いです



公益財団法人古紙再生促進センター